

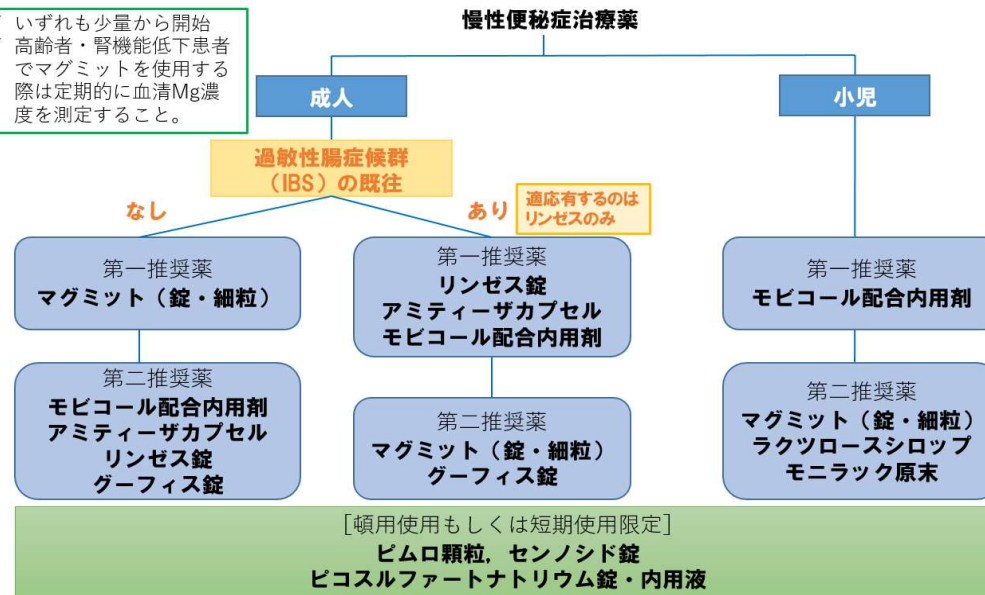
■慢性便秘症治療薬フォーミュラ

	第一推奨薬						
	小児		成人(IBSなし)			成人(IBSあり)	
商品名	モビコール配合内用剤LD	モビコール配合内用剤HD	マグミット細粒	マグミット錠	アミティーザカプセル	リンゼス錠	
一般名	配合剤		酸化マグネシウム			ルビプロストン	リナクロチド
規格・単位	[1包(6.8523g)中] マクロゴール4000 6.5625g, 塩化ナトリウム 0.1754g, 炭酸水素ナトリウム 0.0893g, 塩化カリウム 0.0251g	[1包(13.7046g)中] マクロゴール4000 13.1250g, 塩化ナトリウム0.3508g, 炭酸水素ナトリウム0.1786g, 塩化カリウム0.0502g	83% (833mg/g)	250mg	330mg	24 μg	0.25mg
先発/後発	先発品		後発品	後発品	後発品	先発品	先発品
用法・用量	<初>1日LD2包又はHD1包, 分1, <最大>1日LD6包又はHD3包, 分1~3, 1回量LD4包又はHD2包まで, (小児) (2歳以上7歳未満)<初>1日LD1包, 分1, <最大>1日LD4包又はHD2包, 分1~3, 1回量LD2包又はHD1包まで, (7歳以上12歳未満)<初>1日LD 2包又はHD1包, 分1, <最大>1日LD4包又はHD2包, 分1~3, 1回量LD2包又はHD1包まで (12歳以上)成人と同量		1日2g, 分3, 食前または食後, 1日2g, 分1, 就寝前			1日48μg, 分2, 朝・夕食後	1日0.25~0.5mg, 分1, 食前投与
薬価	70.5/包	125.5/包	9.1/g	5.7	5.7	105.0	73.4
1日薬価 (常用量)	141.0	125.5	21.8	45.6	34.2	210.0	146.8
備考	・便秘型IBSに有効 ・効果発現は緩徐 ・特有の塩味がある ・腎機能低下時にも使用可 ・妊婦も使用可		・小児適応ないが, 広く使用されている ・高齢者, 腎機能低下時では定期的に血清Mgの測定を推奨 ・eGFR<30mL/min/1.73m ² での投与は推奨しない			・便秘型IBSに有効 ・腎機能低下時にも使用可 ・妊婦は禁忌 ・若年女性では悪心に注意	・便秘型IBSの適応あり ・若年者では下痢に注意

	第二推奨薬		
	小児		成人
商品名	ラクツロースシロップ「タカタ」	モニラック原末	グーフイス錠
一般名	ラクツロース		エロピキシバット水和物
規格・単位	65% (650mg/mL)	6.5g/包	5mg
先発/後発	先発品		先発品
用法・用量	1日30~60mL, 分2 (小児) 1日0.5~2mL/kg, 分3 (1日0.325~1.3g/kg, 分3)	1日19.5~39.0g, 分2 (小児) 1日0.33~1.3g/kg, 分3	1日10mg, 分1, 食前投与, <最大>1日15mg
薬価	4.9	6.5	89.2
1日薬価 (常用量)	49~196 (20kg換算)	42.9~169 (20kg換算)	178.4
備考	・成人の適応は「産婦人科術後のみ」 ・腎機能低下時にも使用可		・腎機能低下時にも使用可 ・高用量開始では腹痛に注意。

頓用限定/短期使用限定				
商品名	ビムロ顆粒	センノシド錠「NIG」	ピコスルファートナトリウム錠「日医工」	ピコスルファートナトリウム内用液「イワキ」
一般名	センナ, センナジツ	センノシドA・B	ピコスルファートナトリウム水和物	
規格・単位	[1g中] センナ577.9mg, センナジツ385.3mg	12mg	2.5mg	0.75% (7.5mg/mL), 10mL
先発/後発	後発品	後発品	後発品	後発品
用法・用量	1回0.5~1g, 1日1~2回, 適宜増減	1日12~24mg, 分1, 就寝前, <最大>1回48mg	1日2~3錠, 分1, (小児) (7~15歳)1日2錠, 分1	1日1回10~15滴, (小児) (7ヵ月未満) 2滴 (7~12ヵ月) 3滴 (1~3歳) 6滴 (4~6歳) 7滴 (7~14歳) 10滴
薬価	6.3/g	5.1	5.9	7.8/mL
1日薬価 (常用量)	6.3	10.2	17.7	—
備考	・長期連用は耐性や習慣性を誘発するリスクあり。			

✓ いずれも少量から開始
✓ 高齢者・腎機能低下患者でマグミットを使用する際は定期的に血清Mg濃度を測定すること。



【参考資料】

・便通異常症診療ガイドライン2023-慢性便秘症- (2023年)

・機能性消化管疾患診療ガイドライン2020-過敏性腸症候群 (改訂第2版) (2020年)

・慢性便秘症診療ガイドライン (2017年)

・小児慢性機能性便秘症診療ガイドライン (2013年)